

令和8年度 教育行政執行方針概要



教育長 三浦 剛

3月10日に開会された第1回定例会で、三浦教育長が令和8年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

沼田町教育委員会では、中長期的な展望に立ち、教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和14年度までの10年間を計画期間とする「第2期沼田町総合教育計画」に基づき、各種施策を着実に進めているところであります。

沼田学園における一貫・連携教育を本町教育の柱として位置づけ、「ふるさと沼田を愛し、自ら進んでたくましく郷土の発展に寄与する子」を目指す子ども像の実現に向け、教育内容の充実と教育環境の整備に引き続き取り組んでまいります。

○子どもの成長をつなぐ
「沼田学園」の一貫・
連携教育

開園9年目を迎える沼田学園については、これまで培ってきた小中一貫・連携教育の成果と課題を踏まえ、「第5期沼田町一貫・連携教育基本計画」に基づきながら、幼児教育との円滑な接続と連続性を確保しつつ、義務教育9年間を見通した系統的な学びの更なる充実を図り、児童生徒一人ひとりの資質・能力の育成に重点を置いてまいります。

本年度においても、小学校への乗り入れ授業や中学校登校日を実施するなど、これまでの取り組みを継続しながら教職員間の連携を一層深めるとともに総合的な学習の時間に位置付ける「沼田学」など、学校と地域が連携・協働しながら、体験的・探求的な学びを通じて子どもたちが主体的に学べるよう教育環境の充実を図ってまいります。

○確かな学力の定着と 特色ある学びの充実

全国学力・学習状況調査や標準学力検査等の結果を検証し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を基本に、授業力の向上と授業改善に取り組んでまいります。

また、読解力や語彙力の向上を図るため、学校図書室や家庭における読書活動を推進するとともに、専門職員による外国語教育の充実により、国際社会で活躍できる人材の育成を目指します。

1人1台端末環境を基盤として、日常的・効果的な活用を進めるとともに、授業支援ツールやAI型学習教材の活用により学力向上・個別最適な学び・協働的な学びを引き続き推進します。

○沼田ならではの教育と キャリア教育

本町の自然環境を教育資源として位置づけた自然体験授業をはじめ、中学生議会や就業体験、ソクラテスミーティングなどを通じて、郷土理解と社会的自立に向けたキャリア教育を推進します。

○国際交流・青少年交流

カナダ・ポートハーディ地区との国際交流、小矢部市との青少年交流、台湾花蓮県瑞穗郷との友好交流を通じ、異文化理解と国際感覚の育成を図ってまいります。

○部活動の地域展開と 働き方改革

国の部活動改革の方向性を踏まえ、本年度は、その前段階として部活動指導員（地域指導者）の増員を図り、報酬及び費用弁償にかかる予算措置を講じることで専門性のある指導体制の充実と、教員の負担軽減の両立を目指します。

将来的には、「認定地域クラブ」への移行を視野に、関係団体や保護者、地域の皆様と協議を重ねながら、できることから無理のない形で部活動の地域展開を段階的に進めてまいります。

○社会教育の充実と地域 を担う人材の育成

サークル・文化団体の育成や活動支援を通じて自主的な学びと交流の場を広げるとともに、生きがい講座などの充実を図り、町民一人ひとりが生涯にわたって学び続ける環境を整えます。

また、社会教育を単なる余暇活動にとどめることなく、まちづくりに主体的に参画し、地域課題に向き合い行動できる人材育成の基盤として位置づけ、学びと実践を「地域を支える力」へつなげ、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

○社会体育の推進と 「ぬまたみらいわくわく アリーナプロジェクト基 本構想」の策定

社会体育の充実を図るため、健康増進と世代間交流を支える環境整備を進めます。老朽化が進む町民体育館については、将来の利用ニーズや財政状況を踏まえ、中学校体育館との複合化も含めて持続可能な施設の在り方を検討し、基本構想・基本計画を策定します。

○卓球クラブの誘致と アスリート育成を核と した教育環境の充実

町民の健康増進と子どもたちの体力向上を図る観点から、年齢や経験を問わず少人数でも継続的に取り組むことができるスポーツ環境の整備を進めてまいります。特に卓球は、屋内で年間を通して実施でき、世代間交流にも適した競技であることから、指導体制の充実と活動環境の整備を図り、誰もが気軽に親しめる地域スポーツとしての基盤を築いてまいります。

その中において、卓球クラブの誘致（卓球留学）を進め、アスリートとしての高みを目指しながら、学業との両立を目指す子どもたちが町外からも集う魅力ある教育環境の形成を目指してまいります。

全国から志ある中学生を迎えられることで、学校教育の充実と生徒数の確保を図るとともに、本町の教育力の発信と地域との交流・定住促進など、まちづくりへの波及効果を創出してまいります。